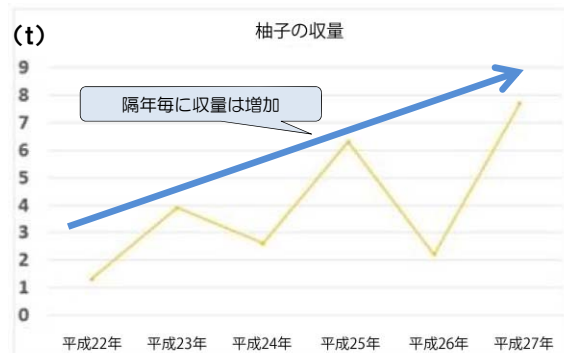


Point

生産量の変化に対応した加工施設の整備を通じて、農地の有効活用と農業所得の向上を図ることにより地域経済の好循環を創り出し、山村地域の活性化を促進する。

地域の課題

既存の加工施設では、生産者から農産物を買い取り、特産品へ加工販売してきたが、貯蔵施設がなく不安定な受け入れラインとなっていた。また、高齢化などにより、主要作物（ゆず、フキ等）の栽培面積及び収量にも変化が生じてきた。このため、生産体制を再構築し、安定した供給を確立することが課題であった。



位置図



活性化計画

販売額5,000万円増



町が栽培を奨励している農産物の生産量の変化に対応するため、搾汁ライン設備や冷凍冷蔵設備を備えた加工施設を新たに整備。

また、整備した施設は高い衛生レベルに対応。

- ・農林産物の安定生産、安定供給を確保
- ・設備のライン化を行い製造工程を効率化

本事業の実施により、将来にわたり地域の農林産物を集荷し、地域の活性化を図る。

また、農山漁村振興交付金（山村活性化対策）事業により栽培マニュアルの作成、栽培研修会を開催して生産者の栽培技術の向上を図る。

交付金事業内容

事業期間：H28年から2年間

事業費：448,754千円（国費219,613千円）

事業目標：販売額の増加（34,168千円⇒66,666千円）

事業主体：大台町

事業内容：特産品加工施設 1棟 1,344.90㎡



農産物加工施設内